

# 地域の力をいかした災害に 強く安全・安心なまちづくりを 目指して



岡山市消防局長 東山 幸生

岡山市は、近畿と九州を結ぶ東西軸と、山陰と四国をつなぐ南北軸のクロスポイントに位置し、広域高速道路網、航空網、東西南北に広がる鉄道網など、優れた交通の広域拠点性を有し、瀬戸内特有の温暖な気候に恵まれた「晴れの国」であり、自然災害の少ない都市として全国的に認知されています。

また、平成30年5月には岡山市をはじめ、隣接する倉敷市、総社市及び赤磐市の4市で文化庁に申請していた「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～のストーリーが、「日本遺産」に認定されました。

いにしえより、吉備の国と呼ばれた岡山地方は、吉備津彦命が温羅と呼ばれた鬼を退治した伝説が今なお語り継がれ、昔話「桃太郎」の原型になったとされていることから、岡山市の都市づくりの基本目標として「桃太郎のまち岡山」を掲げ、市民と行政が一体となって取り組んでいるところです。

さて、昨年の平成30年7月5日から3日間にわたって岡山市内に降り続いた豪雨災害では、東区を流れる一級河川砂川の破堤や内水等による浸水被害、道路の路肩崩壊、土砂崩れなど市内各所で次々に被害が発生し、甚大な被害を受けました。その中で死者、行方不明者を出さなかったことは不幸中の幸いとも言える状況でしたが、われわれ消防職団員や市の関係部局にとって、大きな課題を残した災害となりました。

今年度はそういった災害の教訓から、水防活動用資機材・教育の充実をはじめ、新たに無人航空機(ドローン)の運用を開始したところであり、更にG20保健大臣会合など国際的なイベント開催に向けて、救助活動用資機材の拡充及び関係機関との連携強化を図るとともに、PA連携活動の高度化、Net119緊急通報システムの構築、消防署所の適正配置、車両更新、消防団機庫整備など常備・非常備の基盤整備に係る事業を推進し、総合消防力の充実強化にも取り組んでまいります。

また、増え続ける救急需要に対する予防救急の啓発として、路線バス等へのポスター掲示や高齢者福祉施設等での音楽隊コンサートを行っているほか、違反是正体制の抜本的な改革として、人命に重大な危険を及ぼす消防法令違反対象物を是正させるため、業務のマニュアル化、情報のデータベース化をしたところ、900件を超える違反対象物を是正させており、現在は未把握物件の調査から違反是正までを確実にを行う体制を構築しているところです。

最後になりましたが、岡山市で8月25日に第48回全国消防救助技術大会が開催されることとなっており、「勇鬼～桃太郎のまち岡山から新たな伝説を～」を大会スローガンとして、大会成功に向けて職員が一丸となり全力で取り組んでまいりますので、皆様のご来岡をマスコットキャラクター「桃之助」とともに、心よりお待ちしております。

